

第75回日本臨床眼科学会総会 モーニングセミナー (MS7)

ハイブリッド開催

2021年10月30日(土) 7:40～8:40

第6会場(福岡国際会議場 204)

ニューノーマル時代を 美しく見抜く

～眼科医が考える瞳の健康とご提案～

座長



糸井 素純 先生

(道玄坂糸井眼科医院 / 順天堂大学)

1984年 順天堂大学医学部 卒業
1988年 京都府立医科大学大学院 修了
医学博士取得
1991年 順天堂大学医学部眼科 助手
1992年 豪州 New South Wales 大学 留学
1993年 米国ロチェスター大学 留学(研究指導員)

1995年 東京警察病院眼科 副院長
1997年 順天堂大学医学部眼科 非常勤講師
1998年 糸井眼科医院(表参道) 院長
2007年 医療法人社団松六会 道玄坂糸井眼科医院院長
現在に至る

皆さまご承知の通り、新型コロナウイルスは世界中で猛威をふるい社会に大きな影響を与えました。こうした中で、感染抑止や終息へ向けて働き方や生活様式の変化を求められています。従来は常識であったものが通用なくなり、新しい価値観やルールに従って暮らすニューノーマル時代が来ています。

患者さんの主訴もコロナ禍で大きく変化しており、デジタル接触時間が1日あたり5時間以上増え、疲れ目やかすみ目などの悩みがさらに深刻になっていることが浮き彫りになりました*。

そこで今回、「ニューノーマル時代の眼科医が考える瞳の健康」をテーマに、ドライアイ専門医の有田先生には、マイボーム腺機能不全の基礎から最先端のエビデンスについて、続いて樋口先生には、コンタクトレンズ素材の進化等を交えながらコンタクトレンズ装用時の不調や不快とその対処法について、お話していただきます。

明日からの診療に役立つ、実践的な内容にしたいと考えておりますので、是非先生方のご参加をお待ちしております。

※「暮らしに関する調査」ロート製薬株式会社調べ 2020年5月

演者1



有田 玲子 先生

(伊藤医院 副院長 / LIME 研究会 代表)

1994年 京都府立医科大学卒業
2001年 京都府立医科大学大学院博士課程修了
2002年 慶應義塾大学眼科助手
2005年 伊藤医院眼科副院長
2007年 東京大学眼科臨床研究員
2011年 慶應義塾大学眼科講師(非常勤)
2012年 LIME研究会代表
2021年 日本角膜学会評議員

演者2



樋口 裕彦 先生

(ひぐち眼科 院長)

1985年 北里大学医学部卒業
1991年 北里大学医学部大学院博士課程修了
1993年 米国 Dallas 環境医学センター 留学
1994年 北里大学病院眼科 研究員
1996年 北里大学病院眼科 非常勤講師(～2000年)
1999年 ひぐち眼科開設
現在に至る

ニューノーマル時代にきらめく 瞳のひみつ

選択の基準 シリコンハイドロゲルを選びますか? ハイドロゲルレンズを選びますか?

[illegible]